

怒ってしまいそうなきこそスキシップ！



ほめる時は当たり前のようになでるのに、叱る時は

ノータッチではありませんか？

離れたところから大声でどなったり。

後で冷静になってから、「あんなに怒るんじゃなかった」って後悔したり…

言葉と行動は連動しやすい。

手や背中をなでながら叱ると、自然と優しい口調になるし、言いすぎない。

なでながら怒るのは難しいから。

子どもに対して良く使われる「ちゃんとしなさい！」という言葉も、子どもにとってはすごく曖昧で、強いプレッシャーとなる上に「怖い」と感じやすく、頭が真っ白になって、何もできなくなることがあります。

座りこんだ子どもが「ちゃんとしなさい！」と言われても、かたくなに立ち上がらないのは大抵これ。

まず優しく「おいで」と呼び、ハグをしながら、穏やかな口調で、やって欲しいことを伝えるほうが、「早くやりなさい！」「なんでやらないの！」と怒るより確実に早く終わることが多いのです。そもそも子どもは、自分が言われてるということが分からず、ちゃんと話を聞いてないこともあるのです。



また、子どもにとって「話を聞く」と「話を理解する」も全くの別物なので、聞いてても分かってないこともあるし、すぐ忘れてしまったりもするのです。

根気のいることで、家事・育児で忙しいママは大変ですが、繰り返し教えてあげてください。

【カリスマ保育士てい先生の「子育てで困ったら、これやってみ！」】